

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年11月10日(2022.11.10)

【公開番号】特開2021-76680(P2021-76680A)

【公開日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2021-023

【出願番号】特願2019-202620(P2019-202620)

【国際特許分類】

G 09 G 5/00(2006.01)

10

G 09 G 5/36(2006.01)

G 06 F 3/01(2006.01)

【F I】

G 09 G 5/00 530D

G 09 G 5/00 550C

G 09 G 5/00 550B

G 09 G 5/00 510H

G 09 G 5/36 530Y

G 09 G 5/00 510A

G 06 F 3/01 510

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月28日(2022.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

画像を表示するための表示素子を有する表示装置であって、

前記表示装置がユーザに装着されている装着状態であるか否かを判定する装着状態判定手段と、

前記表示装置が静止している静止状態であるか又は動いている動き状態であるかを判定する動き状態判定手段と、

前記表示装置が前記装着状態であり且つ前記動き状態である場合、前記表示素子を点灯可能状態に制御する制御手段と、

を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記表示装置は、前記表示装置を含むシステムの起動前には第一の動作モードで動作すると共に、前記システムの起動後には第二の動作モードで動作し、

前記制御手段は、

前記表示装置が前記第一の動作モードである場合、前記表示素子の点灯時に、当該点灯時から第一の期間が経過した後に前記表示素子を消灯させる第一のタイマを設定し、

前記表示装置が前記第二の動作モードである場合、前記表示素子の点灯時に、当該点灯時から前記第一の期間よりも長い第二の期間が経過した後に第二のタイマを設定することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記表示装置が前記第二の動作モードである場合、前記表示装置が前記装着状態から非装着状態へ遷移したことに応じて、点灯中の前記表示素子を消灯すると

50

ともに、前記第二のタイマの設定を継続することを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記第二のタイマの設定時に、既にタイマを設定済である場合、再度の設定は行わずに設定済のタイマの設定を継続することを特徴とする請求項2又は3に記載の表示装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記第二のタイマのタイムアウトに応じて、前記表示素子が点灯中であるか消灯中であるかに関わらず、ユーザへの通知メッセージを表示用画像データとして出力することを特徴とする請求項2乃至4の何れか1項に記載の表示装置。

10

【請求項6】

前記制御手段は、前記第一のタイマのタイムアウトに応じて、前記表示素子を消灯することを特徴とする請求項2乃至5の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項7】

ユーザ操作を受け付ける入力手段をさらに備えることを特徴とする請求項2乃至6の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項8】

前記制御手段は、前記点灯可能状態への状態遷移時に、或いは、前記点灯可能状態で前記ユーザ操作が受け付けられたことに応じて、前記表示素子を点灯させることを特徴とする請求項7に記載の表示装置。

20

【請求項9】

前記入力手段は、前記表示装置が前記装着状態であり且つ前記動き状態である場合に前記ユーザ操作の受け付けが有効になることを特徴とする請求項7又は8に記載の表示装置。

【請求項10】

前記制御手段は、ユーザへの通知メッセージの表示中に、前記入力手段により前記ユーザ操作が受け付けられた場合、前記通知メッセージの表示を停止することを特徴とする請求項7乃至9の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項11】

前記入力手段は、プッシュスイッチであることを特徴とする請求項7乃至10の何れか1項に記載の表示装置。

30

【請求項12】

前記入力手段は、前記表示装置が備える撮像部の撮像結果に基づいてジェスチャ動作を解析し、前記ジェスチャ動作に基づいて前記ユーザ操作を受け付けることを特徴とする請求項7乃至10の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項13】

前記制御手段は、他の装置からの指示に基づいて、又は、前記入力手段により受け付けられた第二のユーザ操作に基づいて、前記第一の動作モードと前記第二の動作モードとを切り替え可能であることを特徴とする請求項7乃至11の何れか1項に記載の表示装置。

40

【請求項14】

前記装着状態判定手段は、前記装着状態であるか、又は、前記表示装置がユーザに装着されていない非装着状態であるかを判定し、

前記制御手段は、前記表示装置が前記装着状態であり且つ前記動き状態である場合、前記表示素子を点灯可能状態にして、前記表示装置が前記非装着状態である又は前記静止状態である場合、前記表示素子を点灯可能状態にしないことを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項15】

前記点灯可能状態は、前記表示素子を点灯することが許可されている状態であることを特徴とする請求項1乃至14の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項16】

50

前記表示装置は、前記ユーザの頭部に装着される頭部装着型表示装置であることを特徴とする請求項1乃至1_5の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項17】

前記装着状態判定手段は、前記頭部装着型表示装置がフリップアップされている状態にある場合、前記装着状態ではないと判定することを特徴とする請求項16に記載の表示装置。

【請求項18】

前記表示装置が頭部型の置台に設置されている場合、前記表示装置が前記装着状態及び前記静止状態であると判定され、前記制御手段は、前記表示素子を点灯可能状態に制御することを特徴とする請求項16又は17に記載の表示装置。

10

【請求項19】

画像を表示するための表示素子を含む表示装置を有する表示システムであって、前記表示装置がユーザに装着されている装着状態であるか否かを判定する装着状態判定手段と、

前記表示装置が静止している静止状態であるか又は動いている動き状態であるかを判定する動き状態判定手段と、

前記表示装置が前記装着状態であり且つ前記動き状態である場合、前記表示素子を点灯可能状態に制御する制御手段と、

を備えることを特徴とする表示システム。

【請求項20】

画像を表示するための表示素子を有する表示装置の制御方法であって、

前記表示装置がユーザに装着されている装着状態であるか否かを判定する装着状態判定工程と、

前記表示装置が静止している静止状態であるか又は動いている動き状態であるかを判定する動き状態判定工程と、

前記表示装置が前記装着状態であり且つ前記動き状態である場合、前記表示素子を点灯可能状態に制御する制御工程と、

を有することを特徴とする表示装置の制御方法。

【請求項21】

コンピュータを、請求項1乃至1_8の何れか1項に記載の表示装置として機能させるためのプログラム。

30

40

40

50